



世界に誇る練馬の都市農業 視覚障害者の方がさつまいも掘りを体験！

と き 10月25日（日）午前10時30分～正午

と ころ 区内農業者の畑（練馬区土支田3）

25日、区内の農業者の畑で、視覚障害者の方々がさつまいも掘りを体験した。（主催：練馬区視覚障害者福祉協会（以下「協会」））

今回の取り組みは、協会から視覚障害者が都市農業を学び、野菜の収穫を体験することができないかと練馬区に相談があり、区内の農業者の協力を得て実現したものの。

4日に江戸時代から300年続く農業者の白石好孝さんから、練馬の都市農業の歴史や特徴、魅力などを学んだ。25日には、土支田3丁目にある加藤文雄さんの畑で、丹精込めて育てられたさつまいもを収穫した。

さつまいも掘りを体験した協会の的野 碩郎（まとの せきろう）会長は「まず、起伏がある畑を歩くことが難しかった。土が思っていた以上に柔らかく、土の匂いを感じながらスムーズに掘ることができた。自ら収穫したさつまいもを食べるのが今から楽しみだ。」と話した。



▲収穫体験の様子

【収穫体験の様子】



【参考①】練馬の都市農業

練馬区には東京23区の中で最大の農地が残っており、その割合は23区にある農地の約4割を占めている。大都市東京にありながら、これほどの農地が保たれ、市民生活と融合する形で農業が営まれている練馬区は、世界的にも極めて稀な都市である。利便性の高い都市での市民生活と農が共存する暮らしがあることは、大きな魅力となっている。昨年は、都市農業について積極的な取組を行っている海外5都市を招き「世界都市農業サミット」を開催（11/29～12/1）し、「サミット宣言」を世界に発信した。

【参考②】練馬区視覚障害者福祉協会（会長：的野 碩郎（まとの せきろう））

協会会員の互助、親睦および福祉の増進を図ることを目的に活動

【問合せ】 練馬区 都市農業課 農業振興係 電話03-5984-1403